

雨の日のYOUTUBE

昨日は一日中雨でしたので野良仕事ができず、家の中でゆっくり休んでいました。休日と言えども曜日は平日。テレビを観ようと点けても、普段観（み）つけていない番組ばかりで一向に面白くありませんでした。

こんな時はYOUTUBEでも観てみよう、パソコンに向かいました。野菜作りの情報を得るために、私はちよくちよく動画を利用しています。動画から情報が得られるのは実に便利です。本を読むことも大切ですが、タイムリーに情報を得たい時にYOUTUBEは最適ですね。

コンピュータを立ち上げ、アイコンをクリックすると、「一日一善で再生三〇〇万回の人気映像！」という見出しが、私の目に飛び込んできました。どんな映像だろうと興味をもった私は、野菜作りの動画を見る前に思わずクリックしました。

それは、排気量一〇〇〇CCの大型バイクに乗っている一人のライダーが投稿した映像でした。バイク、ライダーと言うと「走り屋」というイメージですが、投稿者は全くその逆です。制限スピードを守ってゆったりと走行します。私が見たその映像には、通過する車が無視をする道路上の落下物を、そのライダーがバイクを止めて拾いに行くというものでした。

その動画で、私の気もちは和みました。もっと見たいと思って、次の動画をクリックすると、事故現場に偶然出くわしたそのライダーが、すぐさま横転した車のもとに近寄り、周りの人たちと人命救助に取り組む映像が出てきました。人手が必要な時には真っ先に駆け付け、救急隊が来てからは「じやまになってはいけない」とすぐにその場を去ったそのライダーの手柄が、多くの人の心をつかんでいるのだと思いました。

バイクで走りながら、自分をあつという間に抜いていく高速の車に「お願いだから、事故を起こさないでくださいね」と優しく語りかけたり、事故を無くすために一生懸命取り組んでいる警察の方たちに感謝したり、信号待ちをしているときに「ブレーキランプが切れていますよ」とドライバーにわざわざ教えてあげたり……ただ単に「いい人」で済ましていては失礼な気がしてきました。

心から交通安全を願い、微力かもしれないけれど自分ができるところを見つけ、主体的に取り組んでいるこのライダーの生き方、考え方は、誠実さの手本だと私は思いました。

バッテリートラブルでエンジンが突然かからなくなり途方に暮れていたこのライダーのもとに、周りの人たちから救いの手が差し伸べられる映像もありました。やはり誠実な人には、誠実な人たちが集まってくるのでしょうね。雨でトーンダウンしていた私でしたが、このライダーの動画のおかげで、ほのぼのとした気分になりました。

（四月三十日 記）